

2025年7月14日
パーソルダイバーズ株式会社

【パーソルダイバーズ】第30回日本ID陸上競技選手権大会に協賛

～パラアスリートたちの挑戦を、私たちは応援します～

総合人材サービスのパーソルグループで障害者雇用支援事業を手掛けるパーソルダイバーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渡部 広和、以下パーソルダイバーズ）は、一般社団法人 日本パラ陸上競技連盟（大阪府大阪市、会長：増田 明美）が主催している大会へ2024年度より協賛しています。今年度も7月19、20日に開催される「WPA公認 第30回日本ID陸上競技選手権大会（兼）パラ陸上競技記録会」に協賛し、本大会へ出場される知的障害のあるアスリートの皆さんの挑戦を応援します。



画像提供：©一般社団法人 日本パラ陸上競技連盟

[一般社団法人 日本パラ陸上競技連盟](#)では、パラアスリートの出場機会を増やすことを目的に数多くの大会を開催されており、パーソルダイバーズはこの大会趣旨に賛同し、2024年度より本大会へ協賛しています※。

当社およびパーソルグループでは、誰もが挑戦できる環境づくりに取り組んでおり、障害がありながら競技活動に携わるグループ社員を支援する「Challenged Athlete Support 制度」（障害者アスリート制度）を運用しています。

この制度では、競技活動と就労の両立をサポートすることによって、当社に所属する社員も複数の大会へ出場しています。

本大会への協賛は、その一環として、知的障害のある選手たちの挑戦機会とスポーツを通じた成長を支えるものです。

一人ひとりの努力とその舞台を応援することで、スポーツが持つ力と、誰もが共に生きる社会の可能性を、広く社会に届けていきたいと考えています。

多様な人々が自分らしく輝ける社会の実現を目指し、スポーツを通じた共生社会の推進に貢献してまいります。

※今年度は第30回日本ID陸上競技選手権大会、2025 全国ダウン症アスリート会陸上競技記録会、第26回日本IDフルマラソン選手権大会、第10回日本IDハーフマラソン選手権大会の4大会

■大会の概要

「日本ID陸上競技選手権大会」は、知的障害のあるアスリートによる全国大会です。

100m走をはじめとするトラック競技や走幅跳、砲丸投など多彩な種目が実施され、選手たちは自己ベストや表彰台を目指して挑みます。

国内でもトップレベルの選手が多数出場し、知的障害のあるアスリートにとって、日本一を競い合う夢の舞台となっています。

大会名	WPA公認 第30回日本ID陸上競技選手権大会（兼）パラ陸上競技記録会
開催日	2025年7月19日（土）、20日（日）
会場	岐阜メモリアルセンター長良川競技場
主催	一般社団法人 日本パラ陸上競技連盟

これからも、パーソルグループは、一人ひとりが輝ける未来に向けて、「はたらく」を通じてすべての方を応援してまいります。

■関連リンク

- ・ [パーソルグループの障害者アスリート支援について](#)
- ・ [第9回日本IDハーフマラソン選手権大会に協賛](#)
- ・ [「特別全国障害者スポーツ大会」で当社社員が大会新記録を更新](#)
- ・ [オリンピックとパラリンピアンが特別支援学校の生徒と併走！持久走大会を支援](#)

■パーソルダイバースについて <<https://persol-diverse.co.jp/>>

パーソルグループの特例子会社として、「障害者雇用を成功させる。そして、その先へ。」をミッションに、障害者の多様なはたらき方とはたらく可能性の創出に取り組んでいます。グループ内外の企業や地域と連携した多様な業務受託サービスを展開するほか、国内最大級の求人・登録者数を持つ障害者のための転職・就職支援サービス「dodaチャレンジ」、就労移行支援事業所「ミラトレ」「Neuro Dive」の運営や、企業の雇用課題を支援する「障害者の人材紹介」「障害者雇用コンサルティング」などのサービスを提供しています。

■「PERSOL（パーソル）」について <<https://www.persol-group.co.jp/>>

パーソルグループは、「“はたらくWell-being”創造カンパニー」として、2030年には「人の可能性を広げることで、100万人のより良い“はたらく機会”を創出する」ことを目指しています。さまざまな事業・サービスを通じて、はたらく人々の多様なニーズに応え、可能性を広げることで、世界中の誰もが「はたらいて、笑おう。」を実感できる社会を創造します。

問い合わせ先

パーソルダイバース株式会社 広報窓口

MAIL : inquiry@persol.co.jp